

第6回 那覇空港調査連絡調整会議 幹事会

議事概要

1 日 時 平成19年8月10日(金) 16:00~17:00

2 場 所 ハーバービューホテル 金鷄の間

3 出席者

(1) 幹事

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港指導官	成瀬 英治
国土交通省大阪航空局飛行場部次長	八木 千津男
沖縄県企画部参事	滝澤 裕

(2) 内閣府沖縄総合事務局開発建設部からの参加

内閣府沖縄総合事務局港湾・空港整備事務所長	津田 修一
-----------------------	-------

4 議事

PI評価委員会の評価・助言について、資料1のとおり確認した。また、評価・助言に対する対応策を次のとおり決定した。

(1) 報告書の内容、表現方法について

・10頁(環境現況)

公共事業では貴重種が特に問題となるため、どのような貴重種が確認されているのか等の情報は示すべきではないか。

(対応) 貴重種は数多く確認されており、「那覇空港の調査報告書3」は、県民の方が読みやすいように、情報量をできる限り絞ってとりまとめていることから、確認された貴重種を全て掲載することは難しい。

また、貴重種については、別途、那覇空港調査連絡調整会議資料としてHPに掲載する予定であることから、調査報告書には、その旨追記しておくことで対応した方が良い。

p10の下に「自然環境の詳細については、HPに掲載しています。」という文章を追記する。

・27頁(評価方法)

評価方法の表現が統一されていない。

地上走行距離の評価方法の表現については、少し工夫する必要がある。倍数で表し方ではなく、時間等で示す方が良いのではないか。

(対応) 表現方法を統一するため、空港能力の評価を数値で示す。

・ 29頁、39項

ほとんど文字だけの頁については、図解を入れるなどして、少し、読みやすいように工夫してほしい。

(対応) p31の上段の部分をp30の下段に移動させて、p29、30のレイアウトを工夫する。p39については、別指摘と合わせて対応。

・ 32頁(自衛隊機の発着回数)

84回の吹き出しについては、自衛隊機等という文言を追加し、吹き出しの向きを自衛隊機に向けること。

自衛隊機の発着回数が将来どうなるのか、どういう考えで回数を決定したのか明記すべきではないか。

(対応) 84回には自衛隊機だけでなく警察や海上保安庁等も含まれており、現在の吹き出しと絵は整合が図られていないので、吹き出しを削除する。

・ 33頁(経済効果)

試算した額がどの程度の規模なのかわかるように、現在の沖縄の観光収入等の額を示すべきではないか。

(対応) p34の 2になお書きで県観光収入を追記する。

・ 39頁(今後の那覇空港のあり方)

すでに決まったことと捉えられてしまうので、「これからの那覇空港についてあなたの声を下さい」ということを前面に出して、それに関連した情報として、物流拠点等のことを整理した方が良いのではないか。

(対応) 第1節のタイトルを「これからの那覇空港についてあなたの声をください」に変更。1、2小節については、今後の那覇空港をとりまく状況として整理し、3小節に囲みを入れる等、レイアウトを工夫して整理する。

・ 概要版と報告書の章番号が異なるため、概要版の章の色を変えるなど、違いが分かるようにすべきではないか。

(対応) 概要版の章番号を「1章」のように変更し、色を変える。

(2) アンケートについて

・前を上回るアンケートを収集できるよう努めてほしい。

(対応) 幅広く意見を収集できるよう努める。

・アンケートの設問は、「検討したこと」が理解できたかという聞き方ではなく、「検討した結果」が理解できたかという聞き方にすべき。

(対応) ご指摘のとおり対応する。